

令和 8年 9月25日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：デイサービス どんちっち
施設種類：地域密着型通所介護 通所型サービス
会議開催日時：令和8年9月12日（土） 16時～17時
開催場所：デイサービス どんちっち
出席者

：7名
（人数）

利用者	2人	有識者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

【出席者紹介】

【前回開催（3月）以降の活動状況の報告】

どんちっち便り等を閲覧しながら、行事や日々の様子を報告。

【利用状況報告】

先月（8月）の利用実績の報告

【苦情、事故・ヒヤリハット報告】令和8年3月～令和8年8月

それぞれの事例の状況と対応、今後の対策を報告した。

・転倒・・・1件

椅子から車いすへの移乗の際に発生。テーブルに手をついて立ち上がり、後方の確認をさ
れず座ろうとして尻もちをついた。幸い勢いが弱く体の痛みもなかったが、しばらく臥床し
て過ごしてもらい、その後の活動に戻られた。

職員が移乗の際、車いすをすぐに差し替えられるようにすぐ横にセットされてないといけ
ないが、数メートル離れた後方へ取りに行ってる数秒の間に起こってしまった。行動に移す
前の準備や利用者への声掛け等について職員全員で確認を行った。

・点眼薬の重複・・・1件

この方の点眼は自己管理（忘れていたら声を掛ける）の為、確実に出来るように見守りを
しているが、午睡前にベッドを準備したり職員がバタバタしている時間帯で、目が届きにく

いソファで再度点眼をされていた。認知症があっても出来ることはし続けてほしいと思っているが、今回のようなことが続くようなら対応を考えたい。

- ・薬袋を間違えて渡し自宅へ持ち帰る・・・1件

二人の利用者の薬袋を入れ間違えた事例。

普段から二重のチェックをしているが、今回はそれでも防げなかった。今後も再度の確認をしっかりと行う。

- ・縫物作業後、靴の中から待ち針出てくる・・・1件

縫物を終え、入浴しよと靴を脱いだ時に気づいた事例。

痛みもケガもなかったのが幸いでしたが、今後は針の数を確認してから提供する。

- ・バランスを崩して転倒しかける・・・1件

ワゴンに寄りかかり少し動いたためバランスを崩した事例。

すぐ近くに職員がおり、とっさに支えたため転倒には至らず。棚やテーブルに手をつく方は多いため、動きやすい物はしまい込んだり、職員周知の為張り紙したり注意を促す。

【その他】

○研修報告

『健康づくりの睡眠』『食事と睡眠』『認知症における高齢者虐待の事例とは』

【意見交換等】

○ご意見

（有識者より）

今回の車いすへの移乗の際の転倒は介護の初歩的なミスなので、今後は無いように十分に検討してください。

（利用者）

私は昨年から利用しているが、最初来るまでは抵抗があったが、来てみるととても楽しく、手作りの昼食が美味しいので、毎回楽しみにしている。（80代男性）

（地域代表）

たまには小さいカップラーメンなんか喜ばれると思います。

その他利用者獲得、安定的な経営、運営のためにどうすれば良いのか、多くの意見や情報を皆様に頂いた。